

第3次総合計画検証結果・評価および第4次での改善点

効果検証の凡例

- ◎・・・計画どおりに進捗し、期待通りまたはそれ以上の成果があがっている
- ・・・概ね計画通りに進捗しているが、期待どおりの成果をあげるには改善の余地がある
- △・・・進捗が遅れており、課題や問題点が多い
- ×・・・進捗が著しく遅れており、抜本的な見直しが必要である

第1章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】

施策1 移住定住の促進【重点施策】

- ・空き家・空き地バンクの登録件数は徐々に増加中。制度の周知をきめ細かく行う。
- ・移住定住者数は、目標の約3倍を達成するなど大きな成果を出しており、今後も、SNS等を活用した効果的な周知を強化する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
空き家・空き地バンクの登録件数	39件	68件	40件（累計）（R6）
空き家・空き地バンクの利活用件数	38件	60件	19件（累計）（R6）
移住・定住者数	—	64人	229人（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策2 計画的な土地の利用

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・旧福富中学校跡地の利活用や町営住宅跡地の民間企業への売却など一定の成果をあげている。
- ・学校再編に伴う跡地利活用の検討や都市計画の見直しを計画的に進める。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
住みやすいと回答した人の割合	60.8%	80.0%	59.8% （R7 町民アンケート）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策3 町営住宅の整備

- ・設定した目標値に向けて着実に進捗しているが国庫補助額により進捗が大きく左右される。
- ・今後も計画的な改修・更新を推進し、居住環境の安定的な確保を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
白石町公営住宅等長寿命化計画の進捗率	39.3%	65.8%	50.0%（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策4 上下水道の整備

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・「合併浄化槽の普及率」については目標を大きく上回る成果が得られている。
- ・安定的な維持管理を継続するとともに、令和8年度以降の町独自の上乗せ補助金縮減を踏まえ、普及啓発の方法や内容についても再検討する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「生活用排水処理施設の整備（下水道・浄化槽）」の満足度	22.4%	30.0%	26.3% （R7 町民アンケート）
合併浄化槽の普及率	29.0%	32.1%	56.4%（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策5 防災対策の推進【重点施策】

- ・目標値「最小限化を目指す」については、定量的に評価できる指標へ変更する。
- ・これまで地区の集まり等で自主防災の重要性を周知してきたが目標達成には至っていない。
今後も町民の防災意識の向上に努めるとともに、自主防災組織の設置の推進を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
風水害・地震などによる人的被害件数	—	最小限化を目指す	0件（R6）
大雨時の住宅の浸水件数	224件	減少を目指す	0件（R6）
自主防災組織の組織化率	42.0%	80.0%	44.8%（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策6 消防体制の強化

- ・消防体制の強化では、成果指標が総人口を分母としているため、人口減少の影響で団員数が減っても割合が上昇するという不適切な評価となった年度があり、指標の見直しを行う。
- ・今後は、団員一人ひとりの技術向上を図り、あらゆる災害活動に対応できる人材育成に取り組むことで地域防災力の強化を進める。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
人口千人当たりの 消防団員数	48.56 人	48.56 人	46.71 人 (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策7 交通安全の推進

- ・交通事故件数が年々減少しており、成果指標として着実に進捗している。今後も保育園・幼稚園・小中学校での交通安全教室や高齢者向けの講話を継続する。
- ・交通安全指導員の後継者の確保が難しくなっており、地域の協力を得ながら人材確保に引き続き取り組む。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
白石町で発生した人身交通事故 の発生件数 (過去5年平均)	143 件	100 件	62 件 (R6)

効果検証	今後の方針
◎	継続

施策8 防犯体制の推進

- ・成果指標が初年度から増減がなく、進捗の把握が困難であるため指標の見直しを行う。
- ・巧妙化する特殊詐欺からの被害を無くすため、警察機関と連携し防犯活動を行ってきた。今後も防犯パトロール等の防犯活動を実施する。
- ・消費者トラブルは高度化、複雑化しており、消費者専門相談員の設置を継続する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
防犯ボランティア の登録者数	1,100 人	1,500 人	1,507 人 (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策9 道路・橋りょうの整備

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・国庫補助額に進捗が大きく左右されるが定期点検や舗装補修を計画的に実施し、地域住民が安全・安心に利用できる利便性の高い道路環境の維持・向上を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「幹線道路、生活道路の整備」の満足度	13.7%	50.0%	15.3% (R7 町民アンケート)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策10 町民の移動手段の確保

- ・人口減少、交通弱者の利用実態の変動などにより、成果指標の目標値は達成していない。
- ・コミュニティタクシーの課題は、利用者の減少や燃料費高騰、人件費の上昇による運行経費が増大している。
- ・今後は、地域住民のニーズを十分に把握した上で、地域公共交通計画の見直しを行い、持続可能な公共交通環境の構築を目指す。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
JR 肥前白石駅及び肥前竜王駅の乗車数	1,773 人	2,000 人	1654 人 (R6)
「あいのりタクシー」の利用者	6,519 人	7,000 人	5,027 人 (R6)
「コミュニティタクシー」の利用者	12,788 人	14,000 人	11,430 人 (R6)

効果検証	今後の方針
△	継続

第2章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】

施策11 子育て支援【重点施策】

- ・「待機児童数」は、目標を常に達成しているため、次期計画から不採用とする。
- ・「子育て支援や幼児教育・保育の充実」の満足度については、次期計画ではアンケートの調査対象を子育て世代に絞り、よりの確に評価できるように見直す。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「子育て支援や幼児教育・保育の充実」の満足度	15.6%	18.6%	14.5% (R7 町民アンケート)
保育園等入所待機児童数	0人	0人	0人 (R6)
学童待機児童数	0人	0人	0人 (R6)
一時預かり利用可能施設数	4箇所	6箇所	7箇所 (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策12 地域共生社会の構築

- ・成果指標は、年々減少しており進捗していない状況。「地域共生社会の構築」では、目標値が「人」に基づく数値であるため、人口減少に伴い達成が難しい状況。
- ・認知症や経済的困窮など複合的な問題を抱える相談が増加しており、支援体制の強化が急務。
- ・育成した介護予防ボランティアや生活支援サポーターが地域活動と十分に連携しておらず、今後は活用促進に向けた関係機関との協議を行う。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
白石町ボランティア連絡協議会 構成団体の数	24団体	24団体	20団体 (R6)
白石町ボランティア連絡協議会 ボランティア登録者数	402人	410人	326人 (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策13 高齢者の社会参加・高齢者福祉の充実

- ・成果指標が目標に向け進捗する一方、男性の参加促進が課題。
- ・健康体操サロンでは初期メンバーの負担が大きいため、運営の引継ぎや負担分散への支援が必要。
- ・成年後見支援センターの周知不足と業務拡充が課題として挙げられるため、改善に向けた対応に努める。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
要介護（支援）認定率	19.1%	19.0%以下	19.0%（R6）
地域サロンの数	50箇所	60箇所	50箇所（R6）
介護予防ボランティア登録者数	250人	285人	298人（R6）
シルバー人材センターの会員数	110人	120人	104人（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策14 障がい者福祉の充実

- ・成果目標の達成や進捗が見られ、継続して取り組む必要がある。
- ・近年、障がい者や保護者の高齢化による介護力低下や将来への不安が増加している。そのため、関係機関の連携を図り、障がい者や家族が安心して生活できる支援体制の更なる強化に努める。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
障害福祉サービス実利用者数	250人	275人	244人（R6）
障害児通所支援実利用者数	106人	130人	98人（R6）
相談支援実利用者数	172人	220人	246人（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策15 医療体制の充実

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・施策全体として独立させる必要性が低いと判断し、方向性が類似する別施策と統合し、連携して取り組む方針へ変更する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「保健、医療の充実」の満足度	14.5%	20.0%	15.9% （R7 町民アンケート）

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策16 保健体制の充実

- ・施策全体として独立させる必要性が低いと判断し、方向性が類似する別施策と統合し、連携して取り組む方針へ変更する。
- ・後期高齢者健診及び特定健康診査の受診率が伸び悩んでおり、健診の重要性についての意識付けが課題。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
3歳児健診受診率	100%	100%	98.5% (R6)
メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合	33.5%	28.5%	35.0% (R6 速報値)
後期高齢者健診受診率	31.4%	33.0%	19.3% (R6 速報値)
特定健康診査受診率	35.5%	58.0%	40.3% (R6 速報値)

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策17 困窮世帯への支援

- ・生活困窮者の相談内容に応じ、県自立支援センターや杵藤保健福祉事務所等との連携を図り、生活の安定に努めた。
- ・成果目標は達成しているが、生活困窮者の定義が不明瞭なため施策を削除する方向で見直す。ただし、行政の必須事業として業務は継続して実施する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
生活保護受給世帯の収入 増加等による自立世帯数	2世帯	3世帯	3世帯 (R6)

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策18 社会保障制度の適正な運用

- ・成果指標は継続。
- ・特定検診受診率向上に向けたインセンティブ事業を進めているが、近年は受診率が低下している。今後も受診率向上に向けた取組を継続する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
国民健康保険被保険者 1人当たり診療費	371,394円	350,000円	440,243円 (R6)
国民健康保険税の収納率	90.25%	91.06%	93.23% (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

第3章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】

施策19 農林業の振興

- ・ 成果指標は着実に進捗しているが高齢化による従事者の減少や資材価格の高騰が課題。
- ・ 担い手だけでなく、中小農家を含めた多様な経営体の支援が必要。
- ・ 作業の効率化、省力化のためスマート農業、農地の大区画化への取組が必要。
- ・ 林業は、担い手不足が課題。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
新規就農者数	29人	125人	61人（累計）（R6）
農業産出額	1,421千万円	1,644千万円	1,524千万円（R6）
野菜産出額	1,056千万円	1,150千万円	1,005千万円（R6）
林道舗装率	98.3%	100.0%	98.3%（R6）
造林事業面積進捗率	3.0%	17.0%	16.1%（R6）
搬出材積量	365 m ³	4,260 m ³	1,436.3 m ³ （R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策20 水産業の振興

- ・ 住ノ江漁港の早期完成を目指す。
- ・ 海苔等の水産物の品質向上を図り、漁業者の所得向上を目指したが、漁場環境は以前にも増して悪化したため、目標を大きく下回った。
- ・ 漁業者が実施する水産多面的機能発揮対策事業の支援を継続する。
- ・ 牡蠣養殖等の新規漁業への支援を継続する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
海面漁獲物等販売金額 （海面養殖販売金額を含む）	198,600万円	198,610万円	66,300万円（R6）
経営体当たりの販売金額	2,223万円	2,445万円	976万円（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策2-1 商工業の振興

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・新型コロナウイルスや物価高騰の影響により、補助金を活用した新規出店事業者がいない状況。
- ・今後は、空き店舗を活用した新規出店事業者の募集を進めるほか、商工会と連携し、町内中小企業者に対する融資を円滑にすることで、経営の合理化及び安定化を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「商工業の振興」の満足度	4.7%	5.2%	4.6%（R7 町民アンケート）
起業・創業者数	—	3件増	17件増（累計）（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策2-2 企業誘致

- ・成果指標は達成していないが、1企業の創業や2企業の進出が決まる等大きな成果をあげている。次期計画の成果指標は、「誘致企業数」で検討する。
- ・今後、発生する学校や公共施設の跡地を有効に活用できるよう幅広く募集する等の検討を引き続き行う。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
企業を誘致するための候補地確保	0所	1所	0所（R6）

効果検証	今後の方針
◎	継続

施策2-3 観光振興

- ・「観光客数」「観光消費額」は目標を達成している。
- ・今後の課題は、町内の周遊。道の駅しろいしの来訪者をいかに町内の周遊につなげていくかが課題。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
観光客数	490,000人	540,000人	908,267人（R6）
観光消費額	423百万円	520百万円	909百万円（R6）
新たな観光資源の開発	—	2本増	0本増（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策24 農林水産物のPR・ブランド化【重点施策】

- ・第3次計画期間に取り組んできた新規農産物については、今後は販路拡大に重点を置く。
- ・次期計画では、広報戦略に基づき、シティプロモーションの展開、町のブランディング強化を図るため、本施策と入れ替えを検討する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
ふるさと応援寄附件数	58,900件	69,000件	48,087件（R6）
「道の駅しろいし」の売上額	425百万円	500百万円	700百万円（R6）
「道の駅しろいし」の来訪者数	490,000人	580,000人	778,000人（R6）

効果検証	今後の方針
○	見直し

第4章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の振興】

施策25 学校教育の充実【重点施策】

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・AIを活用した英語教育事業を通じて生徒の学力向上を図り、学校教育の質を高める取り組みを進める。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置時間の拡充が課題。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「学校施設・設備、学校教育の充実」の満足度	13.4%	20.0%	14.3% （R7 町民アンケート）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策26 地域全体での子どもの育成

- ・成果指標については、算出根拠や出典が不明確で、検証が困難な指標があり、定量的に追える指標への改善が必要である。
- ・コミュニティ・スクールの目的や意義について地域住民、保護者、教職員間での認識共有が不足している課題があり、今後は効果的なアプローチによる理解促進を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
家庭で挨拶をよくする 児童生徒の割合	43%	60%	—
自然体験・集団生活活動 への参加数	30人/年	40人/年	56人/年（R6）
企業等と学校が連携する 取組の数	3回	20回	11回（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策27 生涯学習の推進

- ・成果指標は定量的であり、目標を達成している。
- ・今後も町民が地域の活力を高める基盤として機会を拡充し、継続的に取り組む。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
生涯学習講座実施数	14回/年	20回/年	20回/年（R6）
図書貸出冊数	43,500冊/年	46,000冊/年	47,544冊/年（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策28 スポーツ・レクリエーションの振興

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・令和4年度は、新型コロナウイルスの影響で町主催スポーツ大会の中止が多かった。
- ・SAGA2024国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会を開催したことでスポーツ振興、元気で活力あるまちづくりに寄与した。
- ・「スポーツ・健康増進のまち宣言」に基づく取組を強化する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「スポーツ施設の充実」の満足度	11.6%	20.0%	14.0%（R7 町民アンケート）
日常的にスポーツ活動 している人の割合	11.5%	20.0%	11.8%（R7 町民アンケート）

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策29 郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・文化財への興味関心の醸成が十分に進んでいない。今後は、須古城の国指定に向けた取り組みを進め、地域の魅力向上を図り、次世代への伝承や観光振興にもつなげる。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「各所・旧跡・文化財の保護」の満足度	8.2%	20.0%	11.0% (R7 町民アンケート)
白石町に愛着を感じている人の割合	82.6%	90.0%	85.1% (R7 町民アンケート)

効果検証	今後の方針
○	継続

第5章 自然環境と共生するまち【自然環境の保全】

施策30 自然環境の保全

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・施策全体として独立させる必要性が低いと判断し、方向性が類似する別施策と統合し、連携して取り組む方針へ変更する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
「環境（森林・農地・有明海・河川）の保全」の満足度	16.4%	25%	15.9% (R7 町民アンケート)

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策3 1 脱炭素社会・循環型社会の構築

- ・ごみの排出量は年々減少しており、一定の効果・進捗が見られるものの、引き続き町民や事業者の広報啓発による、意識の醸成など、脱炭素社会・循環型社会に向けた取組が必要である。
- ・施策全体として独立させる必要性が低いと判断し、方向性が類似する別施策と統合し、連携して取り組む方針へ変更する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
1人1日当たりのごみの排出量	716g/人日	615g/人日	673 (R6)
リサイクル率	19.0%	20.0%	16.8 (R6)
「省エネルギー・新エネルギーの推進」の満足度	4.9%	15.0%	7.1% (R7 町民アンケート)
温室効果ガス総排出量	1,951,528 kg-co2	1,853,951 kg-co2	2,315,872 kg-co2(R6)
脱炭素社会・循環型社会に関する講座の開催	1回/年	2回/年	3回/年 (R6)

効果検証	今後の方針
○	見直し

第6章 参加と協働で築く町民主体のまち【保健・福祉の充実】

施策3 2 参加と協働の促進【重点施策】

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・今年度、有明地域で地域づくり協議会が設立し、着実に進捗している。残る地区の設立を目指す。今後、地域特性や住民の意見を活かし、持続可能な地域運営の仕組みづくりへの発展につなげる。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
地域活動に参加している人の割合	46.8%	80.0%	41.4% (R7 町民アンケート)
ボランティア団体数・NPO団体数	4団体	5団体	5団体 (R6)
地域づくり協議会設置数	1団体	8団体	2団体 (R6)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策33 広報・まちの魅力発信・広聴の推進

- ・成果指標がすべて定量的で目標を達成しているが、広報誌の若者への影響力やケーブルテレビの加入率が伸び悩んでいる。
- ・広報戦略に基づき、各種媒体を活用した効果的な広報活動を推進する。
- ・ブランドメッセージを効果的に発信し、町の認知度やシビックプライドの醸成に努める。
- ・次期計画では、広報戦略を強力に推進するために重点施策の候補として検討する。
- ・広聴については、「未来（ゆめ）トーク」を積極的に実施していく。また、「町民協働」施策への統合を検討する。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
ホームページ訪問者数	585,411人	700,000人	839,551人（R6）
SNS登録者数	1,400人	2,000人	2,066人（R6）

効果検証	今後の方針
○	見直し

施策34 人権啓発の推進

- ・成果指標は目標を達成している。
- ・毎月の人権相談については、広報誌やHP、ケーブルテレビなどを通じて周知を行ったにもかかわらず相談者が少ない状況。令和7年度からは、気軽に立ち寄れる環境づくりに取り組んでいる。
- ・企業対象の人権啓発活動の実施が課題。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
人権・同和教育啓発活動	13回/年	15回/年	15回/年（R6）

効果検証	今後の方針
○	継続

施策35 男女共同参画社会の構築

- ・成果指標について、年度ごとの推移を把握できないため、毎年進捗を確認できる指標に変更する。
- ・役場内では女性役職者割合が低迷しており、職員の昇進意識向上や役職者の働きやすさの確保が必要。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
審議会・委員会等における女性の割合	32.3%	40.0%	33.0 (R6)
白石町役場における女性監督職及び管理職（係長以上）の割合	18.95%	30.0%以上	22.0 (R6)
「男女共同参画社会の推進」の満足度	4.9%	50.0%	5.6% (R7 町民アンケート)

効果検証	今後の方針
○	継続

施策36 公共施設の適正管理

- ・成果指標は、公共施設等総合管理計画の最終年度の数値目標が設定されている。次期計画では、総合計画の最終年度である令和11年度に達成すべき数値目標を設定する。
- ・成果指標の進捗については、床面積が増加しており、進んでいない。今後、効果的・効率的な運用や施設の長寿命化を図りつつ、総量縮減を進める。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
公共建築物の総延べ床面積	116,982 m ²	76533.6 m ² (R18)	113,603 m ² (R6)

効果検証	今後の方針
△	継続

施策37 効率的な行財政運営

- ・成果指標は、目標を大幅に達成した一方で、個別計画の見直しや利用者のスキル向上が課題。
- ・今後は更にICTを活用した業務効率化を進め、職員の能力向上や組織力強化を図る。

成果指標（第3次）	現状値	目標値	実績値
オンライン申請ができる手続数	2件	29件	83件（累計）(R6)

効果検証	今後の方針
○	継続